

## 主題：神の宮としての召会の内在的な意義——神の永遠のエコノミーの目標

### メッセージ 1

#### キリストの複製となって三一の神の団体の表現としての召会となる

聖書：ヨハネ 12:24. 17:22-23. 使徒 1:8. ローマ 8:3, 29. 12:4-5

- I. 神のエコノミーにおける神の目標とは、多くの子たちを生み出し、彼の団体の表現とすることです——ローマ 8:14. ガラテヤ 3:26. 4:5-7. ヘブル 2:10. 啓 21:7。
- II. 神の当初の意図とは、人がご自身の神聖な命と神聖な性質を受け入れ、こうしてご自身の表現となること——創 1:26. 2:7-9 :
  - A. 人は神の種類にしたがって創造されました。人を創造した時、神はご自身の団体の表現のためにご自身の複製、コピーを造られました—— 1:26。
  - B. 神は人をご自身のかたちで創造され、キリストは見えない神のかたちです。ですから、人はキリストを入れ、キリストを表現するために、キリストのかたちに創造されました—— 26 節. コロサイ 1:15. II コリント 4:4。
  - C. 信者たちの一の最高の面とは、三一の神の団体の表現のための神聖な栄光における一です。わたしたちは鏡のように主の栄光を見つめ、映すとき、栄光から栄光へ、主と同じかたちへと造り変えられて神の団体の表現となります——ヨハネ 17:22-23. II コリント 3:18。
  - D. 死と復活を通して、主イエスは彼の複製と継続としての召会を生み出しました——ヘブル 2:11-12。
  - E. 召会の基本的な機能とは、キリストにある三一の神の団体の表現であること——エペソ 3:14-21。
- III. ヨハネによる福音書によれば、キリストは複製を持っており、彼の複製において、彼は一粒の麦であり、ご自身を複製して三一の神の団体の表現としての召会とします—— 12:24 :
  - A. 一粒の麦として、主イエスは地に落ちて死に、彼の複製としての多くの穀粒を生み出しました—— 24 節。
  - B. キリストの復活において、わたしたちは彼の複製です—— I ペテロ 1:3。
    1. キリストが復活させられた時、彼の信者であるわたしたちはみな、神の中に含まれていました。すなわち、わたしたちは彼と共に復活させられました——エペソ 2:6。
    2. キリストは復活において、神聖な命をわたしたちの中に分け与え、わたしたちを多くの穀粒、すなわち、命と性質において彼であるのと同じにし、彼の複製と彼の増殖としました。——ヨハネ 12:24。
  - C. 最初の穀粒、すなわち、最初の神・人は原型であり、多くの穀粒、すなわち、多くの神・人は大量の複製です。これが神の複製です——創 1:26. ヨハネ 20:17. ローマ 8:29。
  - D. 多くの穀粒は砕かれ、ひかれてきめの細かい小麦粉となります。それは、ブレndingされて一塊のパン、すなわち、キリストのからだとなり、新エルサレムにお

いて究極的に完成します—— I コリント 10:17。

IV. 使徒行伝において、キリストの団体の複製と継続である一組の人々がいます。そのような者として、彼らは復活と昇天の意味を知っており、彼らの命としてのキリストによって生き、彼らの力と権威としてのキリストによって行動し、彼らがからだであり、一つの神聖な水流において、からだの中で、からだのために行動するということを認識しています——ヨハネ 20:22. 使徒 1:8-11, 14. 2:1-4, 24, 32-33. 4:33 :

A. 弟子たちは、復活したキリストを命として彼らの中に持つことによって、キリストの複製となりました——ヨハネ 14:19-20. 20:22 :

1. 主イエスは彼らに彼の死を通過させ、彼らを彼の復活の中へともたらし、ご自身を彼らの中へと造り込みました——ガラテヤ 2:20. エペソ 2:6.
2. 主イエスが経過した過程を経過することによって、弟子たちは彼によって置き換えられ、命と性質において彼であるのと同じにされました——ローマ 6:4-6. ガラテヤ 2:20. I ヨハネ 2:6. 4:17.
3. 死と復活においてキリストを経験することによって、彼の弟子たちは彼の複製、拡大、継続となりました——ヨハネ 12:24.

B. 主イエスは忠信で、真実な証人です。彼の複製と継続として、使徒行伝において使徒たちと弟子たちは、彼の証し人、すなわち、復活したキリストの生ける証し人でした——啓 1:5 前半. 3:14 後半. 使徒 1:8, 22. 4:33.

V. ローマ人への手紙の深遠な思想とは、神が人と成られたのは、神の完全な救いにおいて、信者たちが贖われ、再生され、聖別され、新しくされ、造り変えられ、同形化され、栄光化されて、神の子供たちとなるためであり、命と性質において神と同じになって、キリストのからだの肢体となるためであるというものです—— 8:3. 1:3-4. 3:24. 5:10. 8:14, 29-30. 12:2, 4-5 :

A. 神は、罪の肉の様にある神の御子を遣され、肉において罪を罪定めされました。それは、罪人が、神へと和解させられ、彼自身によって義とされて、永遠の命を受け、そうして神の子供となるためです—— 8:3, 16.

B. わたしたちの主イエス・キリストは、肉によれば、ダビデの子孫より生まれ、聖別の霊によれば、死人の復活により、力の中で神の御子と定められて、神の長子となりました—— 1:3-4.

C. 神の長子、すなわち、最初の神・人は、キリストの複製、またキリストのからだの肢体である多くの神・人を生み出すための原型であって、彼らは長子とまったく同じになります—— 8:14, 29.

D. 命の霊の法則の機能とは、神の長子であるキリストのかたちに、わたしたちを形づくり、同形化することです。命の霊の法則によって形づくられることは、ローマ人への手紙第 8 章 29 節における「同形化」の意味するものです。

E. 神の救いの目的とは、キリストを無数の信者たちの中に複製することです。それは、神の団体の表現のために、彼らが神の子供たちとなり、神の長子であるキリストの多くの兄弟たちとなって、キリストのからだの肢体となるためです—— 12:4-5.